その学習法、「考えない子ども」を育ててませんか?

読み書き計算が基礎基本でしょう? ます、基本、それから 応用だと思います。 計算を早くたくさん できるようにすると、 脳が活性化するんでしょう?

_____ 一般に、

0

「読み書き計算」が学力の基礎と言われ、機械的に計算をができたり、スラスラ本を読めたり、たくさん漢字を書けることが指導の目標とされています。しかしそれは、「考えずに反射的に答えを出す」「スラスラ発音できる」「覚えた通りに書ける」ということで、「内容をわかっている」「漢字や熟語の意味をわかっている」ということではありません。「読み書き計算」という考えない、機械的、反復的なパターン学習をいくらやっても、考える力(応用力)は育ちません。

むしろ、「考えない習慣」を強化してしまいます。 考える力が育つのは12歳までです。 脳が活性化する=頭が賢くなるというような「良い」意味は本来ありません。 「脳が活性化する」というのは、 脳の酸素代謝や血流量が一時的に増える、 エネルギーが要るという意味です。 つまり、単純作業では エネルギーをたくさん使う、ということです。 ガムを噛んでも、心に不安を感じても 「脳は活性化」するのです。

大人のリハビリに単純計算が良くても、 成長過程にある子どもには危険です。

どんぐり倶楽部の 糸山泰造先生

ゆとり教育の本当の目的は、 「読み・書き・計算」の 内側にある本当の学力、 つまり

「考える力」を作ることでしたが、 残念なことに誰もその作り方を 知らなかったのです。 その結果、以前からの 「読み・書き・計算」の徹底で じわじわ進んでいた学力衰退が 表面化したのです。

つまり、ゆとり教育の結果が 証明したのは、「読み・書き・計算」が 本当の学力ではないということです。 このままゆとりをなくしても

学力低下に 拍車をかけるだけです。 考える力の作り方は 裏面を参照してください。 パズルや中学受験問題は、 パターンを覚えたらできてしまいます。 パターンにない問題を見たときに、 「やったことがないからわからない」 になっていませんか?12歳までに パターン学習をしてしまうと、

それ以上思考回路が作られず固定し、 応用のきかない短絡思考に

なってしまいます。
12歳までは多様な思考回路を作るための学習をすべきで、特に表現のパターン学習をすると自分の本当の感情がわからなくなり、最も危険です。

先取り学習をしています。 だって知っている、見たことがある ということが自信に つながるんじゃないですか?

先行学習は、 知らないことを教え込む 結果を重視した学習法です。 知識だけを先取りすると、 浅い理解で完成してしまうため

応用がききません。

どんぐり倶楽部では 「準備学習」をします。 新しい道具の使い方を 先に教えるのではなく、 今持っているものを 駆してエ夫して 問題を解くのです。 すると、学校で習ったとき、 エ夫した体験により

エスした体験により 深く理解できるのです。 先行学習で得た自信は、 知らないこと、 見たことがないことの前では

見たことかないことの削では とてももろいのです。

注意:発達障害があるお子さんには先行学習が必要な場合があります。 <u>人</u>一人指導法が違いますので、直接お問い合わせください。

うちの子は難しいパズルや塾で 中学受験問題をスラスラ解けるから 考える力はついていますよ。

考える力をつけるための ゆとり教育が失敗したから、 また詰め込み学習に 戻ろうとしているんじゃ ないんですか?

あなたのお子さんは考える力がついていますか?

●良質の算数文章問題 3年生用にチャレンジ!!

※お子さんにさせる場合は、言葉の意味や漢字がわからない場合は教えてもよいですが、 解法のヒントは出してはいけません。

<3MX25>

今日はCD飛ばし大会の日です。1人5枚ずつの巨大CDを 5m先の箱に投げ入れます。

箱に入ったCDの厚さに応じて車を貰えます。始君は4枚、次野君は3枚、最後君は5枚が入りました。

CD1枚の厚さを6mm、CDの厚さ2mmにつき1台の車を貰えるとすると、みんなで車は何台必要でしょう。

これ足し算? 引き算?

さて、どうでしたか?

適当に式書けば あたるでしょ。

わかんないよ 習ってないし。



難しすぎて ツマラナイ

もしこんな症状があるなら、今までの学習法を再検討してください。 答えが出ても、楽しくできなかった場合は要注意です。 さきほどの問題を、立式だけで解こうとしても難しいと思います。 どんぐり倶楽部の「良質の算数文章問題」は「考えないで」解けるようには作られていません。 この問題を、どんぐり実践暦のある子どもが、「考えて」解いてみました。



どうですか?式がなくて絵ばっかりじゃない!と思いましたか? 実はこれが思考力を育てる上で、非常に大切なのです。

文を1つ1つ絵にしていくと、最後に答えが「見え」ます。「見える(see)」=「わかる(see)」のです。

人間は言葉ではなく、イメージで考えています。 どんぐり倶楽部では、これを「視考力(しこうりょく)」と呼んでいます。 この「視考力」は、高速反復学習と同時では育てられません。



考えるって、言葉じゃなくて、 イメージを使っているんだね。 だから、文を絵に書いていくと考える力がつくんだね!

小学生時代は、学力の基礎を培う大事な時期です。 見せかけの学力ではない、しっかりとした視考力を育てましょう!

EL CHQENOTUSTUFEZ ►

良質の算数文章問題 各学年100題 年長用~6年生用 各1500円

※在籍学年と上下学年の3学年分があるとよいですが、 学年に関係なく年長用問題はオススメです。

どんぐり倶楽部の学習理論読本「思考の臨界期」 単行本700ページ相当を、A4・38ページに。2500円

パソコン環境のある方に DONGURI-CD 10000円

内容: 良質の算数文章問題 全学年分

三角視算表・ドリル/700題文章問題添削例1200題以上 これだけ算数・計算編/漢字/e-BOOK思考の臨界期/講義録 掲示板・利用者の声(数千件の学習相談も収納)

付録:デンタくん・何でも書かずに覚えてしまうIF暗記法などをCDーRに収録。

NEW!!糸山先生の鳥取講演会録音CD

※どんぐり倶楽部の基本理念、思考力の育て方、文章題の進め方、デンタ君、 中学生の受験指導まですべてが!音楽CD2枚組150分!

どんぐり倶楽部の季刊誌 「コトノハ通信」9月創刊!! 年間購読料3000円

※創刊号特集「気がついた時がスタート」 親や指導者の体験談、過去ログ集、学校の 算数どんぐり方式、作品集など全40P 「コトノハ通信」ホームページ

http://kotonohadonguri.web.fc2.com



糸山泰造先生 プロフィール



1959年、佐賀県生まれ。明治大学商学部卒。進学塾講師 をへて塾講師の指導に携わる。85年から、遊びを通して子ども達の成長をサポートする「どんぐり倶楽部」を運営。 その後、勉強会をはじめ、保護者主宰の教室を開催。 現在は、「どんぐり倶楽部」HPを通じてオリジナルテキス ト・教材のダウンロードサービス等を行っている。著書に

「絶対学力」「続・絶対学力」(文藝春秋)、「子育てと教育の大原則」 · ı(エクスナレッジ)、「12歳までに絶対学力を育てる学習法」(草思社)、 「絵で解く算数」(アエラキッズブック)など多数。

問題集のご注文・お問い合わせ・教育相談 「どんぐり倶楽部」

〒811-1356 福岡市南区花畑2-21-33-10 FAX:020-4623-6654

e-mail: donguriclub@mac.com

HP: http://homepage.mac.com/donguriclub/frontpage.html